

令和5年度長野県公衆衛生専門学校評価表

長野県公衆衛生専門学校

第1 重点目標

1 中・長期目標

歯科衛生士法に基づく専門的知識や技術を積極的に学び、地域社会に貢献する意識をもつ学生を養成する。		
取組状況	<p>学生全体で様々な機会を設け、学生自身が生涯を通じて歯科衛生士として働いていくという自覚を持てるよう取り組んでいる。</p> <p>歯科医療業界の近年の状況や課題を取り入れた講義や実習を実施し、学生が卒業後に対応することになる地域の状況や環境等を内容に加えた。さらに、地域特性やその地域で抱える課題を意識できるよう、実習の組立を行った。その中でも重度身体障がい者に対する食事介助等の現場を見学することで、将来歯科衛生士として地域医療に携わる意識を高めることができた。</p>	
今後の取組	今後も引き続き、学生が歯科衛生士を目指して前向きに授業や実習に取り組めるよう、支援していく。	
評価	学校自己評価	運営協議会評価
	適切	適切

2 今年度の重点目標

長野県歯科口腔保健推進条例に謳われているオーラルフレイル対策等の新たな知見を教育に取り入れ、現在の歯科医療業界のニーズに対応した人材を育成する。		
取組状況	<p>歯科医療の最新情報を講義に取り入れるとともに、専門分野の講師による特別講義等を実施し、現場での実践方法や新たな知見を導入するよう心掛けている。既存の口腔機能測定機器に加えて口腔水分計も活用した実習を行い、より実践力の向上も目指している。</p> <p>また、信州保健医療総合計画の施策の展開に基づき、摂食嚥下機能や訪問歯科診療に関する講義や実習を行っている。今年度は全身タイプのシミュレーターを購入し、口腔内だけの視点ではなく、全身疾患との関係性も視野にいれた講義や演習が実施できるように整備した。</p> <p>高齢者への対応法など、シミュレーターを活用した授業は実際の状況をイメージしやすく、学生からも大変好評だった。</p>	
今後の取組	今後も、オーラルフレイル対策の一端を担える歯科衛生士の養成に力を入れていく。	
評価	学校自己評価	運営協議会評価
	適切	適切

キャリアデザインを意識した教育を行い、個々の特色を生かした就職活動を支援する。		
取組状況	<p>就職対策講座やキャリア形成のための特別講義等を行い、学生が理想の歯科衛生士像を思い描くための働き掛けができています。さらに歯科衛生士の職域の広さを知ること、生涯に渡って歯科衛生士として働くための意識を高めるために、全学年が外部研修会に参加した。</p> <p>特に3年生は県歯科衛生士会が主催するキャリア形成のための研修会を受講し、将来のキャリアアップをより意識することができた。</p> <p>また、多くの実習施設で実習を行うことも、理想の歯科衛生士像をイメージできる経験になっている。</p>	
今後の取組	<p>学生が自分の特徴を理解し、明確な目標をもって卒業までの過程を進めるよう引き続き支援を行う。さらにその目標を就職活動に活かすことができるよう、個別指導を充実させていく。</p>	
評価	学校自己評価	運営協議会評価
	適切	適切

理念、目的、育成人材像、特色等を広く広報し、本校の魅力を発信することで学生確保に努める。		
取組状況	<p>学校公開を年6回行っている。特に体験入学では、好評だった内容を踏襲し学生と参加者のコミュニケーションの時間を充実させることで、歯科衛生士の職業理解と学校の特色の理解に大変効果的だった。</p> <p>中南信地域の高等学校を訪問し、学生募集を周知した。特に推薦入試の新制度について細かく説明したことで、学生確保につながった。</p> <p>また、地域の関係機関主催による高校進路指導者を対象とした説明会で、本校の魅力を伝え、学生募集に取り組んでいる。</p> <p>さらには地域のイベントにも参加することで、地域に根付いた学校であることを周知できた。</p>	
今後の取組	<p>当校を地域住民にも広く周知するために、報道機関へのプレスリリースを積極的に行い、行事等を取り上げてもらえるよう働きかける。</p> <p>ホームページ等で当校の特色を発信していくことで、学生募集、強いては歯科衛生士の確保をめざしていく。</p>	
評価	学校自己評価	運営協議会評価
	適切	適切

第2 評価項目

1 教育活動

(1) 教育理念・目標

適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1

評価項目	学校自己評価	運営協議会評価
学校の教育理念、目的、目標を定め、育成する人材像は専門分野の特性を生かしているか	4	4
教育理念等が学生・保護者等に周知されているか	4	4
育成人材像は歯科医療業界のニーズに沿っているか	4	4

① 課題

学生、保護者に対し、継続した周知を行う。

② 今後の改善方策

ホームページ、学生集会等を通じ、引き続き教育理念の周知に努める。

③ 特記事項

専門分野の特性を生かし、社会や業界のニーズに対応した人材育成像となっているか常に意識する。

(2) 学校運営

【運営組織等の機能有効性】

適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1

評価項目	学校自己評価	運営協議会評価
教育目標に沿った事業計画が策定されているか	4	4
運営組織は規則で明確化されているか。また、有効に機能しているか	4	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
予算執行が適正になされているか	4	4
コンプライアンスが実践され、また実践のための体制が図られているか	4	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

今後もホームページ等を活用し、学校運営状況を公開していく。

③ 特記事項

学校運営協議会での意見を踏まえ、学校にご協力いただいている郡市歯科医師会に会議報告を行った。

【学校案内と学生の確保】

適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1

評価項目	学校自己評価	運営協議会評価
学校案内等の各種資料を作成、配布し、広く情報提供を行っているか	4	4
学校公開を開催し、本校の魅力をPRしているか	4	4
関係団体等と協働し、学生確保に努めているか	4	4
令和6年度の入学定員を確保できたか	4	4

① 課題

歯科衛生士という職業の認知度が低い。そのため歯科衛生士養成校への関心が薄い。

② 今後の改善方策

各報道機関へのプレスリリースをはじめとし、ホームページ等を活用し学校の情報公開とともに歯科衛生士について広く周知することで、本校の認知度を上げ、魅力発信に努める。

高等学校訪問時やガイダンス時には、入試制度について丁寧に説明し、より多くの生徒が受験を検討してくれるよう、周知していく。

③ 特記事項

学校公開の申込みに Google Form を活用し、より申込みしやすい環境を整えた。

学校案内の在校生ページを Q&A 形式にすることで、より当校の魅力発信に効果的であった。

【ホームページの充実】

適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1

評価項目	学校自己評価	運営協議会評価
本校の魅力を発信するホームページとなっているか	3	3
受験生への情報等、必要な情報提供が適切に行われているか	3	3
閲覧しやすい構成になっているか	3	3

① 課題

ホームページの構成がわかりにくいため、必要な情報を取りにくい。

② 今後の改善方策

学生の通常的生活風景を発信し、入学後の生活スタイルをイメージしてもらい、さらには歯科衛生士の職業紹介等も発信していくことで、歯科衛生士を目指す人が増加するきっかけとなるホームページを作成していく。

③ 特記事項

特になし

(3) 教育活動

【教育理念に則った教科活動】

適切: 4、ほぼ適切: 3、やや不適切: 2、不適切: 1

評価項目	学校自己評価	運営協議会評価
教育課程は、教育理念、目標等に沿って体系的に策定されているか	4	4
キャリア教育や実践的な職業教育の視点に立った科目等が設定されており、関連団体との連携による工夫・改正など内容の見直しが行われているか	4	4
授業評価を実施する体制は組織されているか	2	2
教員が先端的な知識・技術等を習得するための研修や指導力育成など、資質向上のための取組が行われているか	4	4

① 課題

学校全体として、授業評価の体制が構築されていない

② 今後の改善方策

教務の授業評価方法について試験的に実施していく。また公立の歯科衛生士養成校などに情報提供を求め、授業評価方法についてのさらなる情報収集を行う。

③ 特記事項

模擬患者実習等の臨床に即した実習は技術習得に効果的であり、実践力も向上していくため、今後も関係団体の協力を得ながら継続していく。

学生育成に必須である教員の指導力などの資質向上を図っていく。

学生個々からの聞き取りで出た意見については、内容に応じて講師と相談しており、今後も継続していく。

【授業・実習内容の充実】

適切: 4、ほぼ適切: 3、やや不適切: 2、不適切: 1

評価項目	学校自己評価	運営協議会評価
グループワークなど様々な授業方法を取り入れ学生が主体的に学べるよう支援したか	4	4
歯科医療現場の現状を把握し、現場の課題を学生に示すことができたか	4	4
臨床実習では、教科で修得した理論や技術を臨床の場で応用できるよう、臨床的技能や態度について実習できたか	4	4
臨地実習では各施設の特色や利用者の特性を習得できる実習ができたか	4	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

教科の学習内容と臨床・臨地実習施設での教育内容について、関係機関と協議、検討して技術革新する歯科医療現場の技術や知識を講義等に取り入れるとともに、基礎的理論に基づいた実習ができるよう、協力体制を維持していく。また引き続き特別講義を行うことで、学生が積極的に実習に臨める環境を整えていく。

また、臨床・臨地実習に向けて学生と個別面談を実施し、引き続き学生個々に応じて態度面、技術面など多面的、主体的に学べるよう支援していく。

③ 特記事項

コロナ禍も明け、各学年の校外研修が実施できた。特に3年生は歯科衛生学会に参加し、歯科業界の現状や新しい知見を学べる機会となった。

【学習成果】

適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1

評価項目	学校自己評価	運営協議会評価
歯科衛生士国家試験の合格に向けた授業を実施できたか	4	4
地域歯科医療に貢献できる人材育成を視野に入れた教育と就職指導が実施できたか	4	4
職員会議等を通じて学生の学習状態や就業希望等を共有し、教員全体が共通意識のもとに対応できたか	4	4
卒業後のキャリア形成について情報提供し、学校の教育活動に活用しているか	4	4

① 課題

メンタル不調の学生への対応と、その学生に対応する職員のメンタルケアの方法を検討する。

② 今後の改善方策

今後も現在の支援環境を継続し、学生が目標を達成できるような環境を整える。

③ 特記事項

キャリア教育の一環として、県歯科衛生士会の研修会に参加し、将来的な歯科衛生士のキャリアビジョンを考えるきっかけとなった。

(4) 学校生活支援

【生活指導、学生支援】

適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1

評価項目	学校自己評価	運営協議会評価
学生の安全管理のための取組や指導がなされているか	4	4
保護者からの支援体制や連携は図られているか	4	4
挨拶の励行や身だしなみについてTPOに合わせた指導が実施できたか	3	3

① 課題

実習時については指導徹底できているが、日々の挨拶や身だしなみについて、引き続きの指導が必要である。

② 今後の改善方策

臨床・臨地実習を振り返ることで、医療人としての自覚を持ち、社会的ルールの大切さを実感できるよう指導していく。

学生個々に応じて、挨拶等の指導を行っていく。

③ 特記事項

特になし